令和7年(2025年)3月17日

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌丘珠学校長 能 登 啓 児 印

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

- 1 本年度の重点目標
 - 1 地域性を生かした外部連携を軸とした特色ある取組を通じた魅力ある教育活動の充実による「選ばれる学校」づくりと効果的 広報活動
 - 2 「夢あきらめない」ための不断の授業改善による個に応じた学びの推進
 - 3 自他の考えを尊重しながら、創造力をもって新たな一歩を踏み出す生徒の育成と個々の生徒が主役として輝く行事や課外活動の充実
 - 4 心身共に健康で働ける労働環境と協働性・組織力が機能する職場づくり
- 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
広報活動およ び保護者や地 域との連携 (総 務)	関係項目の評価平均:2.8 ・学校HPは、内容の充実を昨年以上に図ることができたが、 保護者アンケート集計結果では、「学校の様子がわからない」 という回答もあり、さらなる情報発信が課題である。	○適切な評価である。 ・学校活動が通常通りに行われ、保護者が学校 に来る機会が増え積極的にPTA活動が行わ れたことにより、学校の様子を知ることがで きた。
改善方策	○ICT機能を積極的に活用し、学校と保護者、地域間のコミュニケーションツールとして有効な活用方法を早期に検討し導入していく。	
学習指導 (教務)	関係項目の評価平均:2.9 ・授業規律は守られ、基礎基本の定着を図った。 ・家庭学習の習慣化が大きな課題である。 ・ICTを活用した授業改善をさらに進める必要がある。ICT環境の改善が必要である。	○ほぼ適切な評価である。 ・生徒が生き生きとした学校生活が送れるよう に、より魅力のある授業を行って欲しい。 ・ICTを活用した授業をさらに進めて欲し い。
改善方策	○職員同士の授業参観を土台に、授業改善につながる有効な全体研修を設定する。 ○授業と家庭学習との有機的な繋がりを図るための教科・学年横断型の取組を実施する。	
生徒指導	関係項目の評価平均: 2. 9 ・ATM+S (挨拶・時間・マナー・安心) の指導は、着実に成果があがってきているが、一部浸透していない面も見られる。 ・交通安全やネットモラル教育は、各関係機関から講師を招き講演会を実施した。	○適切な評価である。 ・生徒は挨拶がしっかりとできている。引き続きATM+Sを継続して取り組んで欲しい。 ・バスの乗車、自転車のマナーに関しては、一部改善しなければならない。継続して指導して欲しい。
改善方策	○挨拶運動やスマートフォン使用マナーについては、全職員が共通認識を持ち取組を継続する。 ○全体指導だけではなく、学年毎や学級毎できめ細やかな取組を計画・実施をする。	
進路指導	関係項目の評価平均:2.9 ・3年間のキャリアマップを活用して生徒の主体性を引き出 す工夫が必要であり、総合型選抜への対応に課題がある。	○ほぼ適切な評価である。 ・さらに生徒の進路実現に向けての工夫や改善 をし、生徒の進路達成に尽力して欲しい。
改善方策	○「キャリアマップ」をさらに有効活用し、3年間を見据えた体験学習、進路探究活動を効果的に取り入れ、課題探究や主体的な学習活動のための適切な支援を行う必要がある。	
探究推進	関係項目の評価平均: 2. 9 ・3年間を通しての総合的な探究の時間の計画・実施・改善 の必要があり、生徒が主体的に活動できる力を身につけさ せることが課題である。	○ほぼ適切な評価である。・探究活動、体験活動をとおして、様々な探究心を身につけて欲しい。
改善方策	○総合型選抜に繋げられるように生徒が主体的に行動できる力を身につけさせることが必要である。	
特別活動	関係項目の評価平均: 2. 9 ・生徒が自主的に取り組んだ冬季のイルミネーション企画は 大変良かった。 ・生徒会執行部が中心となり、学校祭及び体育大会の開催や 部活動の活性化を図ることができた。	○ほぼ適切な評価である。 ・生徒会の生徒が中心に企画・運営をした学校 行事の取組を実施できたことは良かった。 ・宿泊研修、見学旅行をとおして人間関係づく りができたことは良かった。
改善方策	○さらに生徒が自主的に諸活動を充実させていくために、全職員でサポートをする。	
健康教育	関係項目の評価: 2.8 ・必要に応じて、担任・学年・他分掌と連携を図り対応する ことができた。教育相談については、サポート委員会を中 心に不登校生徒等のサポートをどのようにしていくかが課 題である。	○ほぼ適切な評価である。・生徒の出すシグナルに対して先生方のアンテナをより高くして対応していただきたい。
改善方策	○サポート委員会、いじめ対策委員会等の役割を明確化し、情報共有と適切対応に努める必要がある。	
公表方法	○学校評議員、PTA役員へ公表する。○本校Webページにて公表する。	